

世界最高峰の超高速320列CT装置を導入しました。

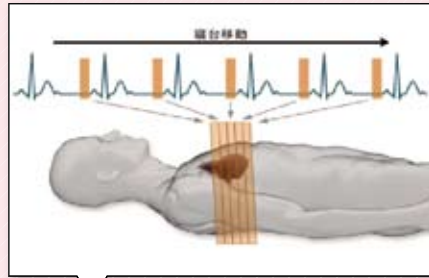
患者さんにやさしく安全に検査ができるようになりました。

動きのある臓器を短時間で詳しく検査

最大の特徴は、わずか0.35秒で1回転のスキャンを完了し、160mmという広範囲を撮影できることです。

例えば、今までの装置で心臓を詳しく検査するときは4,5回心電図に合わせて寝台を移動させていました。そのため動きによる画像のずれが生じて診断の妨げになっていました。また長い息止めが必要でした。〈図1・図2左側〉

〈図1〉



〈図2〉

【従来装置】分割撮影 → 【今回導入装置】一心拍の間一回(0.35秒)



〈超高速320列CT装置の外観〉

今回導入した装置は、160mm(0.5mm幅で320列)の撮影範囲であれば、ベッドを移動させることなく、脳や心臓を撮影することが可能になりました。〈図2右側〉

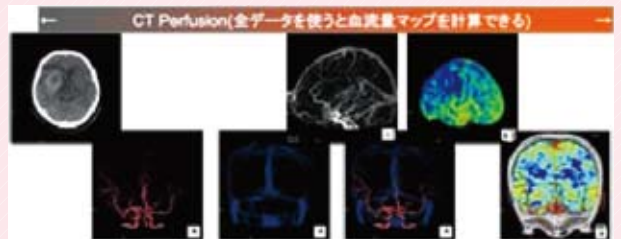
また、画像の精度が高く、心臓カテーテル検査のかわりに心臓CTだけで済み、外来で検査ができる症例の範囲が広まりました。〈図3〉



〈図3〉

今回導入装置での心臓CT画像

〈図4〉 脳の動脈静脈血管や機能画像



形態診断から機能診断へ～

“血流まで見える”4次元イメージングが得られます。

連続撮影した臓器の画像を時系列に並べることで、血流量の変化や臓器の動きの診断（機能診断）も可能になりました。空間3次元に時間を加えた「4次元のCT」です。〈図4〉

福井県立病院理念・基本方針

理念

私たちは、総合的かつ高度な医療の提供を通じて、県民に信頼され、心あたたまる病院をめざします。

基本方針

1. 心身ともに全人的な医療を提供します。
2. 質の高い医療、特殊・先駆的医療を提供します。
3. 安全管理を徹底し、患者様本位の医療を提供します。
4. 救命救急医療の充実を図ります。
5. 地域医療機関との連携に努めます。
6. 個人情報の適切な管理を行います。
7. 健全な経営に努めます。



「コンパス」には、

「円を描く道具」「方角を示す磁石」の2つの意味があります。

この広報誌が皆様と当院の輪(和)を描くものとなり、また皆様にとって有用な情報を提供することで、今後の皆様の健康の道しるべとなるようお願いを込めて名づけられました。



当院では、みなさまに安心して治療を受けていただけるよう、色々な取り組みを行っています。今回はその中から、「医療生活相談窓口」と「ふれあい図書室すいせん」をご紹介します。

医療生活相談窓口

医療生活相談窓口では、ソーシャルワーカーがご相談をお受けしています。

ソーシャルワーカーは、患者さんが受診、入院、退院される中で起こる様々な生活上の不安や心配ごとについて、患者さんやご家族と一緒に考え、安心して治療を受けていただけるようお手伝いいたします。

相談についての秘密は守ります。他の機関や施設と連携するときは、相談者の了解なしに個人情報を提出することはありません。お気軽にご相談ください。

このようなことでお困りではありませんか？

- 医療費や生活費が心配だ。
- 障害年金や介護保険の手続きがわからない。
- 退院といわれたが、退院後の生活のことが心配だ。
- 地域にどんなサービスや施設があるのだろう。
- いったい誰に相談したらいいのだろう。



- 相談日 月曜日から金曜日
(土、日、祝日を除く)
- 時間 8:30~17:00
- 方法 面談・電話による相談

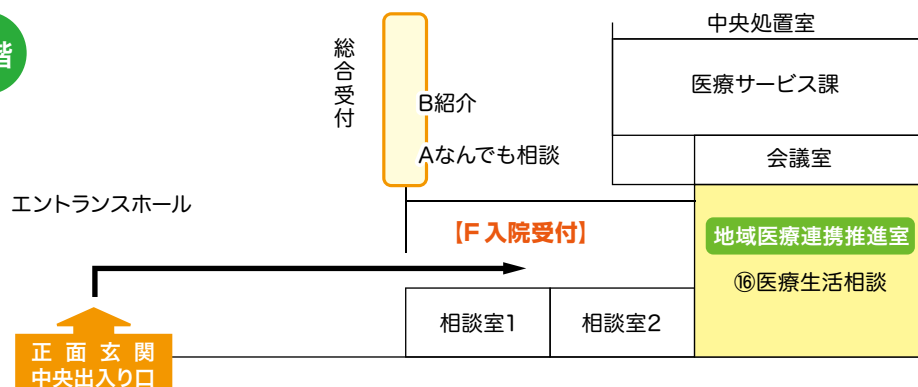
【お問い合わせ先】

福井県立病院 1階「地域医療連携推進室」

TEL: 0776-54-5151

FAX: 0776-57-2901

1階



【F入院受付】でお声をかけてください。





ふれあい図書室すいせん



当院では1階の正面玄関から入った左手奥に患者さんやご家族など来院される方のために図書室を開設しております。どなたでもご利用いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

図書

蔵書は約5900冊で、ふれあい図書室「すいせん」には常時約2200冊の図書を並べています。病気や治療法、体験記など医学に関する本のほか、子供向けの絵本や読み物、時代小説、話題の本などさまざまなジャンルを取りそろえております。

(病院ホームページの図書室ページをご覧くださいと、書名や著者名などから所蔵している本の検索ができるようになっています)



インターネット検索

インターネットの普及により医療情報もインターネット検索でさまざまな最新情報を収集できるようになって来ています。図書室内にインターネットが使えるパソコンを2台設置しておりますので、病気やその治療方法、その他最新の医療情報の収集などにお役立てください。

ボランティアスタッフ

図書室のカウンター業務は主に、当院に勤務経験のある有志のボランティアスタッフで行っております。熱意のあるボランティアスタッフのご厚意を受けて運営することで、より一層、利用者の皆さんに身近で、利用していただきやすい図書室になることを目指しております。



ボランティアスタッフからひとこと

「ふれあい図書室」にボランティアとして参加してほぼ一年になりますが、図書室の受付にいると思いがけない出会いがあります。「明日、退院するんや」と喜びを伝えに来てくださる方、好きな作家の話を読まれる方、「こんな本が欲しい」と言ってみえる方など、ちょっとした小さな会話を嬉しく思います。この図書室は健康に関する本が多いのも特色で、さまざまな本との出会いや発見もあります。本を借りるのもよし、インターネットするもよし、誰もが気軽に立ち寄りくださる場所でありたいと願っています。(ボランティア H.M.)

利用案内

- 開室時間** 平日の10時～15時
(土・日・祝祭日および年末年始は閉室)
※図書室前の図書閲覧室は常時開室。
- 貸出** 3冊まで。2週間または1カ月以内の次回来院予約日に返却ください。
- 返却** 時間外は返却ポストにお入れください。



ボランティアコンサートを行いました

新しい年を迎えてまもない1月12日、県立病院エントランスホールにおいて、フルート奏者 田賀優及子さんをはじめ3名のボランティアの方々によるコンサートが開かれました。

新春の風に乗せてフルートとピアノの美しいハーモニーが届けられ、入院患者さんやご来院の方々には、おなじみのメロディーと共に憩いのひとときを過していただきました。



県立病院では月一回程度、ボランティアによるコンサートを開催しております。今年度もこれまでに7回開催しておりますが、ピアノをはじめ、フルート、クラシックギター、マリンバ等さまざまな楽器による演奏やコーラスなど多種多様な内容で、多くの患者さんやご来院の方々に楽しんでいただきました。



「なつかしい曲を聞いて涙が出た。」
 「次のコンサートはいつ？」
 「たびたびコンサートを開いてほしい」
 などのお声をいただいております、大変好評です。

今後も、少しでも患者さんたちに癒しを感じていただけるよう、できるだけ多くのコンサートを開催したいと思います。

新聞やテレビで、県の情報をキャッチ!

新聞	「県からのお知らせ」(毎月1日、15日に掲載)
テレビ番組	「おはようふくい730」(FBC/日曜)
〃	「ほっとふくい」(ftb/1・3土曜)
〃	「まちかど県政」(FBC、ftb/日曜)
広報誌	「グラフふくい」(毎月10日発行)

※ラジオやインターネットでも提供中。

お問い合わせ

県広報課

0776-20-0220



健康長寿の福井



福井県

発行 福井県立病院

福井市四ツ井2丁目8番1号 TEL:0776-54-5151 FAX:0776-57-2945



ホームページもご覧ください

<http://info.pref.fukui.jp/imu/fph/>